

I 観 光 動 向

1 概 要

(1) 観光客数

本市の入込観光客数は、平成9年(1997年)にはNHKの大河ドラマ「毛利元就」の放映や「グリーンフェスタひろしま'97」などの大型イベントの開催に加え、「原爆ドームの世界文化遺産登録(12月)」による注目の高まりなどにより、初めて1,000万人を突破し、1,024万人を記録しました。その後平成16年(2004年)までは、900万人台で推移していましたが、平成17年(2005年)には、広島県大型観光キャンペーンの実施に伴い、8年ぶりに1,000万人を突破し、1,013万人となりました。

平成18年(2006年)には、大都市圏の旅行雑誌社や旅行会社への情報発信事業の開始や原爆ドーム・厳島神社の世界遺産登録10周年事業の実施などにより、過去最高の1,027万7千人となりました。さらに、平成19年(2007年)には、石見銀山の世界遺産登録(7月)により、改めて世界遺産が大きくクローズアップされたことや、継続した情報発信が功を奏し、2年連続で過去最高を更新する1,062万4千人となりました。

平成21年(2009年)には、広島市民球場(マツダスタジアム)のPRや、湯来における交流体験型観光の促進などの事業に取り組みましたが、景気の低迷などによる旅行需要の減少から入込観光客数は対前年比3.7%減の1,004万8千人となりました。

平成22年(2010年)には、高速道路料金の割引制度が定着するとともに、市内高速道路網の整備が進み、さらに、平成21年(2009年)に猛威を振るった新型インフルエンザの流行もありませんでした。本市では、フラワーフェスティバルなどのイベントの充実、広島・宮島・岩国地域観光圏事業における滞在型観光の促進、湯来における交流体験型観光の推進などの事業に取り組み、観光客の増加に努めました。

こうした結果、入込観光客数は対前年比5.2%増の1,057万1千人となりました。

(表I-1)

(2) 修学旅行生

修学旅行生数は、平成3年(1991年)までは50万人台で推移していましたが、それ以降、児童・生徒数の減少、修学旅行の多様化などにより修学旅行が見直されたことなど減少傾向にあったことから、平成16年度(2004年度)に、修学旅行誘致専任職員を配置し、全国の学校や旅行会社等に対する個別誘致活動を開始しました。こうした取組みの結果、それまでの減少傾向に歯止めがかかり、平成20年(2008年)には平成16年(2004年)以降最高となる、30万7千人となりました。

平成21年(2009年)は、広島平和文化センターと連携し、「平和学習ワークブック」を作成するとともに、「ひろしま子ども平和議会」を実施しました。こうした取組の結果、新型インフルエンザの影響などはありましたが、前年並みの30万5千人となりました。

平成22年(2010年)は、全国的に少子化が進む中、平成16年度(2004年度)から修学旅行の誘致活動を強化し、全国の学校や旅行会社に対する個別誘致活動などに取り組みできました。

こうした結果、修学旅行生数については、対前年比3.0%増の31万4千人となりました。

(表I-1)

(3) 外国人観光客

外国人観光客数は、平成10年(1998年)以降、新型肺炎(SARS)やイラク戦争の影響等を受けた平成15年(2003年)を除き増加傾向にあり、特に平成15年(2003年)から官民あがでの外国人観光客誘致事業であるビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)が開始され、平成16年(2004年)には20万人を突破しました。その後もVJC事業の推進により、連続して過去最高を更新し、平成19年(2007年)には初めて30万人を突破しました。しかしながら平成20年(2008年)は世界金融危機による景気後退と円高急進の影響を受けて、米国や韓国等からの観光客が減少したことから、対前年比0.6%減の31万人となりました。

平成21年(2009年)は、VJC事業として米国・韓国・中国・台湾を対象に、旅行会社への観光説明会や商談会の開催、視察の受入れを行うとともに、IETF広島会議の開催等に合わせた受入態勢の充実を図るなど、外国人観光客の誘客の促進に努めました。こうした取組の結果、世界的な景気の低迷などはあったものの、対前年比1.9%減にとどまり、30万人台を維持することができました。

平成22年(2010年)は、2月から3月にかけてAPEC(アジア太平洋経済協力)広島高級実務者会合が開催されるとともに、ビジット・ジャパン・キャンペーン事業として米国・豪州・韓国・中国・台湾を対象に、旅行会社への観光説明会や商談会の開催、視察の受入れを行うなど、外国人観光客の誘客の促進に努めました。

こうした結果、外国人観光客については、対前年比11.5%増の33万9千人となり、過去最高となりました。

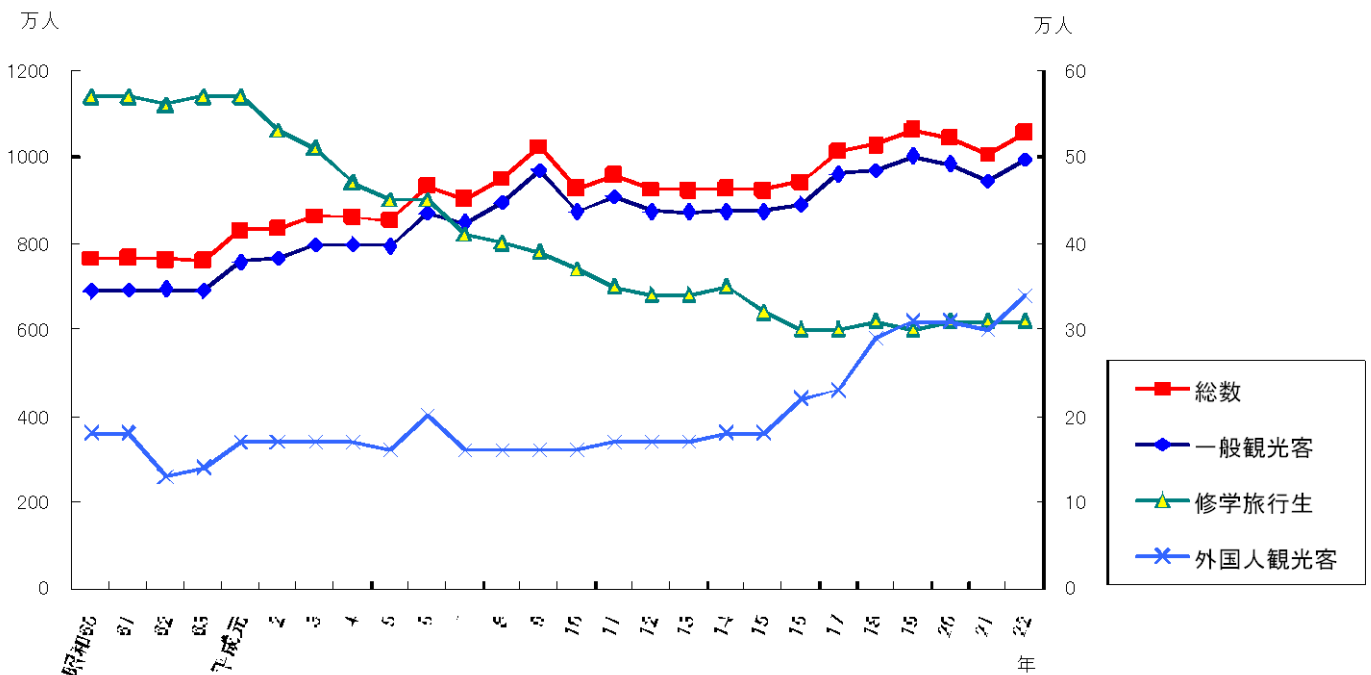
(表I-1)

表 I - 1 来広観光客数の推移

単位：千人，%

年	総数		内					
			一般観光客		修学旅行生		外国人観光客	
		前年比		前年比		前年比		前年比
昭和 60(1985)	7,645		6,896		566		183	
61(1986)	7,656	100.1	6,914	100.3	566	100.0	176	96.2
62(1987)	7,633	99.7	6,936	100.3	563	99.5	134	76.1
63(1988)	7,602	99.6	6,897	99.4	570	101.2	135	100.7
平成元(1989)	8,306	109.3	7,567	109.7	567	99.5	172	127.4
2(1990)	8,342	100.4	7,648	101.1	528	93.1	166	96.5
3(1991)	8,631	103.5	7,950	103.9	513	97.2	168	101.2
4(1992)	8,613	99.8	7,972	100.3	470	91.6	171	101.8
5(1993)	8,541	99.2	7,934	99.5	451	96.0	156	91.2
6(1994)	9,334	109.3	8,691	109.5	446	98.9	197	126.3
7(1995)	9,034	96.8	8,467	97.4	412	92.4	155	78.7
8(1996)	9,494	105.1	8,940	105.6	399	96.8	155	100.0
9(1997)	10,235	107.8	9,684	108.3	389	97.5	162	104.5
10(1998)	9,259	90.5	8,726	90.1	372	95.6	161	99.4
11(1999)	9,581	103.5	9,065	103.9	349	93.8	167	103.7
12(2000)	9,252	96.6	8,739	96.4	343	98.3	170	101.8
13(2001)	9,233	99.8	8,719	99.8	341	99.4	173	101.8
14(2002)	9,259	100.3	8,730	100.1	346	101.5	183	105.8
15(2003)	9,231	99.7	8,734	100.0	317	91.6	180	98.4
16(2004)	9,406	101.9	8,887	101.8	302	95.3	217	120.6
17(2005)	10,131	107.7	9,599	108.0	301	99.7	231	106.5
18(2006)	10,277	101.4	9,678	100.8	305	101.3	294	127.3
19(2007)	10,624	103.4	10,014	103.5	298	97.7	312	106.1
20(2008)	10,435	98.2	9,818	98.0	307	103.0	310	99.4
21(2009)	10,048	96.3	9,439	96.1	305	99.3	304	98.1
22(2010)	10,571	105.2	9,918	105.1	314	103.0	339	111.5

図 I - 1 来広観光客数の推移



(4) 居住地別来広観光客

来広観光客は関東・近畿で5割強

平成22年(2010年)の来広観光客は、居住地別に見ると、北海道、東北、中部、北陸、山陰の割合が増加し、関東、近畿、山陽、四国、九州・沖縄の割合は減少している。(表I-2)

表I-2 居住地別来広観光客の推移(外国人観光客を除く)

単位：%

年	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	山陰	山陽	四国	九州・沖縄	計
18	2.4	3.6	29.3	13.0	2.8	24.4	1.5	9.8	4.5	8.7	100.0
19	4.0	3.0	29.7	14.1	2.7	22.0	1.7	7.9	7.2	7.7	100.0
20	4.5	4.3	32.8	12.2	2.5	21.1	1.2	7.5	5.1	8.8	100.0
21	3.0	2.6	32.4	12.5	4.0	22.6	1.2	7.3	5.4	9.0	100.0
22	3.5	3.1	30.4	17.1	4.3	21.8	1.4	6.2	4.0	8.2	100.0

資料：観光交流部推計

(5) 来広観光客の利用交通機関

利用交通機関はJRが約4割

平成22年(2010年)の広島までの利用交通機関を見ると、依然JR(鉄道)の利用が多く、次いで自家用車となっている。(表I-3)

表I-3 来広観光客の広島への利用交通機関の推移

単位：%

年	JR(鉄道)	自家用車	貸切バス	航空機	船舶	路線バス	その他	計
18	53.5	26.5	6.9	3.4	1.7	5.2	2.8	100.0
19	53.3	26.7	6.5	3.3	2.3	5.3	2.6	100.0
20	53.2	26.9	6.9	3.2	1.6	5.6	2.6	100.0
21	52.6	28.2	6.8	2.9	1.5	5.5	2.5	100.0
22	41.5	31.8	6.6	11.8	0.9	4.6	2.8	100.0

資料：観光交流部推計

(6) 宿泊率と滞在時間

宿泊する人は3分の1

本市での宿泊率は、平成22年(2010年)は33.8%と前年比0.6%の減となった。

また、本市に宿泊しない観光客の市内滞在時間は、5時間以内が45.7%から41.3%へと減少傾向、5～10時間が47.1%から48.6%へ、10時間以上が7.2%から10.1%へと増加傾向となっている。

(表I-4, 表I-5)

表I-4 各都市の宿泊状況(平成22年(2010年))

単位：千人、%

項目	広島市	※札幌市	仙台市	京都市	福岡市
入込観光客数(A)	10,571	12,605	19,790	49,555	16,420
宿泊客数(B)	3,571	6,173	4,655	13,100	4,900
宿泊率(B/A)	33.8	49.0	23.5	26.4	29.8

(注) 広島市の宿泊客数は表I-7による。

資料：各都市 ※印は年度

表I-5 市内での滞在時間(日帰りの内訳)

平成22年(2010年)

単位：%

時間	5時間以内	5～10時間	10時間以上
割合	41.3(45.7)	48.6(47.1)	10.1(7.2)

(注) ()内は前年(平成21年(2009年))の数字である。資料：広島市来訪観光客アンケート調査結果

(7) 観光消費額

平成22年(2010年)の来広観光客の市内での消費額は、対前年比11.1%増の約1,477億円と推計され、1人あたりの平均消費額は、対前年比5.7%増の13,980円となった。(表I-6)

表I-6 来広観光客の市内での消費額

区 分	18年 (2006年)	19年 (2007年)	20年 (2008年)	21年 (2009年)	22年 (2010年)
観光消費額 (億円)	1,438	1,569	1,462	1,330	1,477
前年比	104.2	109.1	93.2	91.0	111.1
1人あたり消費額(円)	14,000	14,770	14,010	13,230	13,980

* 内訳：宿泊費3,300円(3,000円) 飲食費3,300円(3,100円) 土産品費等7,380円(7,130円)

(注) ()内は前年(平成21年(2009年))の数字である。

資料：観光交流部推計

2 宿泊施設の状況

(1) 宿泊施設数

平成22年の宿泊施設数は163軒（対前年比1.8%減）、総定員数は17,747人（同1.7%減）となっており、内訳を見ると、ホテルは67軒で、総定員数の割合は76.7%から76.4%へと減少傾向にあり、旅館は74軒で、総定員数は15.1%から15.5%へと増加傾向にある。（表1-7）

(2) 宿泊数および稼働率

平成22年の宿泊客数は約357万1千人（対前年11万7千人増）となった。（表I-7）

また、定員数に対する宿泊客数、いわゆる稼働率は、施設全体では55.7%から57.1%へと増となった。施設別では、ホテルは58.2%から61.3%へ、民宿等は33.6%から41.5%へ稼働率が上がっている一方で、旅館は38.8%から28.8%へ稼働率が下がっている。（表I-8）

月別については、施設全体でみると平成22年は8月、3月、11月の順で高い稼働率となっている。また1月は例年同様低い稼働率となっている。（表I-8、図I-2）

表I-7 宿泊施設及び宿泊客数の推移

区 分		18年	19年	20年	21年	22年	
							構成比
旅 館	施設数（軒）	52	62	72	73	74	45.4
	客室数（室）	1,104	1,000	1,225	1,254	1,200	10.8
	定員数（人）	2,929	2,688	2,607	2,727	2,756	15.5
	宿泊客数（人）	249,966	314,924	345,697	385,994	286,916	8.0
ホ テ ル	施設数（軒）	59	70	71	69	67	41.1
	客室数（室）	8,723	9,339	9,517	9,635	9,289	83.4
	定員数（人）	12,401	13,520	13,753	13,850	13,566	76.5
	宿泊客数（人）	2,727,872	2,968,961	2,969,808	2,831,186	3,035,512	85.0
共 済 施 設	施設数（軒）	14	14	13	13	12	7.4
	客室数（室）	709	635	605	605	558	5.0
	定員数（人）	1,293	1,264	1,097	1,097	1,048	5.9
	宿泊客数（人）	253,721	227,406	197,645	190,633	201,142	5.6
民 宿 ペンション ユース	施設数（軒）	6	6	12	11	10	6.1
	客室数（室）	78	78	97	92	91	0.8
	定員数（人）	331	311	390	380	377	2.1
	宿泊客数（人）	37,335	35,432	48,368	46,616	47,670	1.4
合 計	施設数（軒）	131	152	168	166	163	100.0
	客室数（室）	10,614	11,052	11,444	11,586	11,138	100.0
	定員数（人）	16,954	17,783	17,847	18,054	17,747	100.0
	宿泊客数（人）	3,268,894	3,546,723	3,561,518	3,454,429	3,571,240	100.0

資料：観光交流部（宿泊客数は推計）

（注1）ホテルとは、政府登録国際観光ホテル、広島シティホテル協会加盟ホテル及び営業許可登録がホテルであるもの等のうち、ホテルに属したほうが適切であると判断した宿泊施設である。旅館とは、日観連、市観連、広島市ホテル旅館組合加盟宿泊施設のうち上記「ホテル」に属さない宿泊施設である。

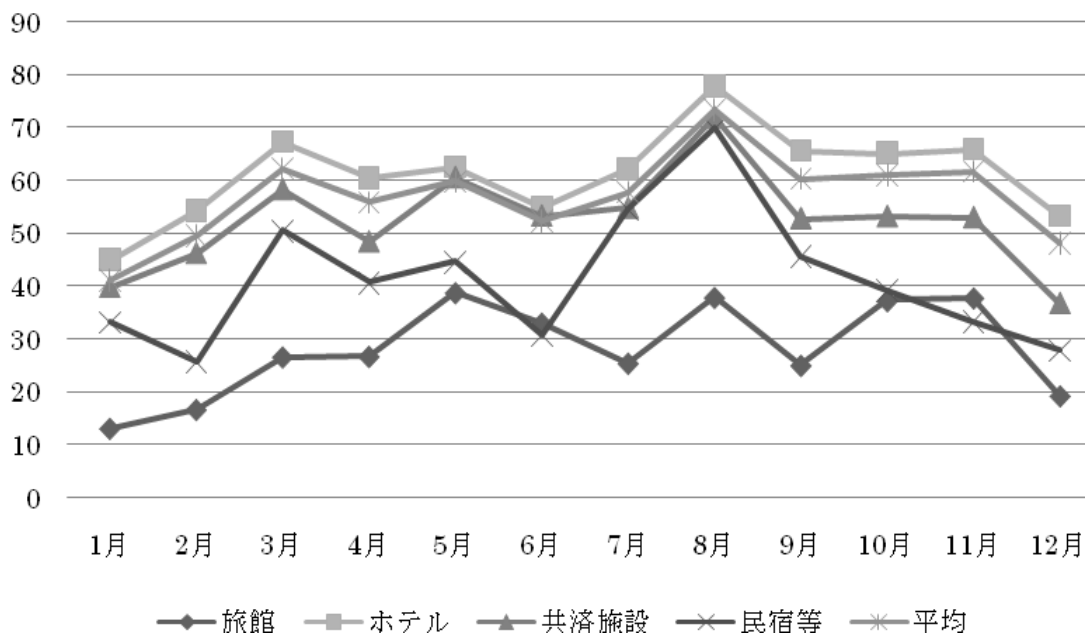
表 I - 8 宿泊施設別、月別稼働率（平成 22 年(2010 年)）

単位：%

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
旅 館	13.0%	16.6%	26.6%	26.7%	38.8%	33.0%	25.4%	37.9%	25.0%	37.3%	37.8%	19.2%	28.2%
ホテル	44.9%	54.3%	67.4%	60.5%	62.6%	55.0%	62.2%	78.0%	65.7%	65.2%	66.0%	53.3%	61.3%
共済施設	39.9%	46.3%	58.4%	48.5%	60.7%	53.4%	54.9%	72.1%	52.9%	53.3%	53.1%	36.8%	52.6%
民宿ほか※	33.2%	25.7%	50.5%	40.7%	44.6%	30.8%	54.6%	69.9%	45.7%	39.2%	33.3%	27.9%	41.5%
平 均	41.2%	49.6%	62.4%	56.0%	59.9%	52.4%	57.9%	73.5%	60.4%	61.2%	61.8%	48.3%	57.1%

※ペンション、ユース・ホステル

図 I - 2 宿泊施設別・月別稼働率（平成 22 年構成比）



(3) ユース・ホステルの利用状況

平成 22 年（2010 年）の広島ユース・ホステルの利用者総数は、前年より 1,409 人減の 11,349 人（対前年比 89.0%）となった。

内訳でみると、5 歳区分の年齢別では 15～19 歳が最も多く 3,653 人（対前年比 98.1%）、30 歳以上の利用者が次に多く 2,958 人（対前年比 100.0%）だった。

地域別では、日本人は 8,075 人で 1,035 人増加（対前年比 106.9%）、外国人は 3,274 人で 1,927 人減少（対前年比 62.9%）した。（表 I - 9）

月別の利用率については、夏休み時期の 8 月（60.8%）及び 7 月（41.2%）と、春休み時期の 3 月（40.0%）、9 月（32.1%）、ゴールデンウィークの 5 月（30.0%）が多くなっている。（表 I - 10）

広島ユース・ホステルの特色としては、外国人の利用者が全利用者数に占める割合が 28.8%と高い。（表 I - 11）

国内の居住地別の利用は、近畿（20.2%）、関東（17.8%）、山陽（広島市除く）（17.1%）の順に多く、伸び率では九州沖縄が前年より 203 人増（対前年比 122.8%）となった（表 I - 12）。

国・地域別の構成比が高いのは中国（21.0%）で、人数ではヨーロッパはフランス、ドイツ、イギリス、北米・南米はアメリカ、カナダ、アジアは中国、韓国が多い。（表 I - 13）

表 I-9 広島ユース・ホステルの利用状況の推移

単位：人

年	総数	利用率 (%)	年 齢 別					地 域 別				
			14歳 以下	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30歳 以上	日 本 人				外国人
								中国	近畿	関東	その他	
18	13,118	34.6	1,394	3,801	3,029	1,395	3,499	2,779	1,651	1,901	2,307	4,480
19	13,627	35.9	1,461	3,966	3,307	1,475	3,418	2,497	1,548	1,701	2,304	5,577
20	14,769	38.8	1,825	4,159	3,697	1,597	3,491	3,177	1,567	1,673	2,175	6,177
21	12,758	33.6	1,483	3,728	3,117	1,473	2,957	2,588	1,394	1,528	2,047	5,201
22	11,349	29.9	1,417	3,653	2,519	802	2,958	2,664	1,632	1,439	2,340	3,274

(注) 利用率は、利用者数÷(ベッド数104×365日)

資料：広島ユース・ホステル

表 I-10 広島ユース・ホステルの月別利用状況 (平成22年)

単位：人

月	総計	利用率 %	性 別		地 域 別				
			男	女	日 本 人				外国人
					中 国	近 畿	関 東	その他	
1	798	24.8	329	469	255	59	50	79	355
2	429	14.7	247	182	173	65	70	52	69
3	1,291	40.0	843	448	323	201	243	375	149
4	736	23.6	460	276	74	198	66	83	315
5	966	30.0	613	353	511	53	94	187	121
6	614	19.7	491	123	96	216	38	150	114
7	1,327	41.2	821	506	218	207	174	378	350
8	1,959	60.8	1,127	832	325	262	401	389	582
9	1,001	32.1	452	549	110	123	103	148	517
10	827	25.7	408	419	120	89	51	129	438
11	734	23.5	425	309	103	45	87	283	216
12	667	20.7	396	271	356	114	62	87	48
合計	11,349	29.9	6,612	4,737	2,664	1,632	1,439	2,340	3,274

(注) 利用率は、利用者総計÷(各月の日数×ベッド数104)

表 I-11 広島ユース・ホステルの国内外の男女別利用状況 (平成22年)

単位：人，%

区 分	日 本 人			外 国 人			総 計
	男	女	小 計	男	女	小 計	
人 数	5,073	3,002	8,075	1,539	1,735	3,274	11,349
構 成 比	44.7	26.5	71.2	13.5	15.3	28.8	100
対前年比	111.1	100.3	106.9	57.2	69.1	63.0	89.0

表 I-12 広島ユース・ホステルの居住地別利用状況 (外国人を除く) (平成22年)

単位：人，%

区 分	北海道	東 北	関 東	中 部	近 畿	山 陰	山 陽 (広島市 を除く)	四 国	九 州 沖 縄	広島市	計
人 数	33	56	1,439	609	1,632	1,030	1,381	550	1,092	253	8,075
構成比	0.4	0.7	17.8	7.5	20.2	12.7	17.1	6.8	13.7	3.1	100

表 I-13 広島ユース・ホステルの国・地域別外国人の利用状況（平成22年）

単位：人，%

国・地域別		人数	構成比	国・地域別		人数	構成比	
ヨーロッパ	イギリス	86	2.6	南北アメリカ	アメリカ	222	6.8	
	ドイツ	136	4.2		カナダ	121	3.7	
	フランス	544	16.6		ブラジル	60	1.9	
	スペイン	17	0.5		メキシコ	1	0.0	
	ポルトガル	3	0.1		コロンビア	0	0.0	
	スイス	27	0.8		その他	17	0.5	
	イタリア	27	0.8		計	421	12.8	
	スウェーデン	27	0.8		アジア	中国	688	21.0
	オランダ	49	1.5			韓国	215	6.6
	ベルギー	8	0.2			タイ	49	1.5
	アイルランド	1	0.1	インド		17	0.5	
	ロシア	6	0.2	フィリピン		56	1.7	
	ノルウェー	5	0.2	マレーシア		42	1.3	
	ポーランド	8	0.3	シンガポール		4	0.1	
	フィンランド	7	0.2	ミャンマー		8	0.3	
	デンマーク	6	0.2	台湾		37	1.1	
	チェコ	9	0.3	その他		350	10.7	
	その他	11	0.3					
	計	977	29.7					
	アフリカ	南アフリカ	0	0.0				
ガーナ		2	0.1					
その他		29	0.9					
計	31	1.0		計	1,466	44.7		
中近東	イスラエル	2	0.1	オセアニア	オーストラリア	141	4.3	
	トルコ	0	0.0		ニュージーランド	230	7.0	
	その他	3	0.1		その他	3	0.1	
	計	5	0.2	計	374	11.4		
計	5	0.2	合計	3,274	100			

3 観光施設等への入館者数

(1) 総括

平成 22 年（2010 年）の主要観光施設への入館者数は、広島平和記念資料館をはじめ 12 施設で前年を上回った。（表 I-14, I-15）

表 I-14 主要観光施設への入館者数の推移

単位：人，％

年	広島平和記念資料館		追悼平和祈念館		広島城		縮景園		ひろしま美術館	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
18	1,231,127	107.0	207,034	100.6	133,300	106.5	166,611	108.1	203,579	130.8
19	1,319,624	107.2	206,416	99.7	156,073	117.1	170,261	102.2	134,498	66.1
20	1,365,404	103.5	214,989	104.2	185,100	118.6	179,967	105.7	197,852	147.1
21	1,373,956	100.6	211,611	98.4	197,423	106.7	179,495	99.7	109,232	55.2
22	1,375,033	100.1	221,710	104.8	208,805	105.8	181,258	101.0	124,531	114.0

年	現代美術館		広島県立美術館		植物公園		安佐動物公園		こども文化科学館	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
18	126,147	163.1	310,596	108.6	169,448	103.0	470,454	95.8	384,707	97.8
19	92,370	73.2	253,289	81.5	188,211	111.1	528,703	112.4	405,170	105.3
20	115,784	125.3	270,678	106.9	201,264	106.9	554,535	104.9	480,461	118.6
21	121,736	105.1	217,572	80.4	218,697	108.7	564,473	101.8	445,116	92.6
22	103,387	84.9	251,418	115.6	211,589	96.7	517,284	91.6	468,934	105.4

年	郷土資料館		ガラスの里		広島市森林公園		江波山気象館		花みどり公園	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
18	18,406	126.5	75,709	80.2	165,790	91.8	60,515	110.5	100,120	103.4
19	24,043	130.6	75,731	100.0	166,986	100.7	72,093	119.1	101,610	101.5
20	37,117	154.4	64,079	84.6	170,298	102.0	67,585	93.7	91,960	90.5
21	31,491	84.8	54,224	84.6	182,011	106.9	57,761	85.5	90,050	97.9
22	28,142	89.4	47,509	87.6	175,719	96.5	58,097	100.6	86,200	95.7

年	マツダ・ミュージアム		交通科学館		頼山陽史跡資料館		マリーナホップ		湯来ロッジ	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
18	67,121	83.0	197,678	109.5	12,850	96.2	2,822,000	103.4	84,784	124.4
19	69,733	103.9	237,985	120.4	10,639	82.8	2,675,000	94.8	86,295	101.8
20	68,952	98.9	251,616	105.7	10,409	97.8	2,258,000	84.4	24,497	※28.4
21	55,167	80.0	218,319	86.8	9,099	87.4	1,847,070	81.8	45,650	186.3
22	63,573	115.2	206,698	94.7	9,690	106.5	1,744,730	94.5	148,437	325.2

クアハウス湯の山		
年	入館者数	前年比
18	70,683	66.0
19	68,268	96.6
20	62,829	92.0
21	64,072	102.0
22	59,843	93.4

※湯来ロッジは平成20年については建替に伴う休業のため1月から3月までの営業

表 I - 15 主要観光施設の月別入館者数（平成22年）

単位：人

月	平和記念資料館	追悼平和祈念館	広島城	縮景園	ひろしま美術館	現代美術館	県立美術館
1	49,849	8,354	11,503	7,470	4,511	7,007	23,511
2	53,982	9,574	11,475	20,047	8,734	8,065	24,598
3	113,278	16,353	21,258	20,135	14,767	4,852	44,380
4	106,747	17,542	15,981	20,100	8,998	5,100	11,254
5	173,343	29,602	26,890	20,629	16,953	8,006	22,977
6	96,313	18,282	12,380	11,061	3,456	5,896	15,062
7	93,179	16,574	14,096	8,581	8,280	14,529	10,149
8	201,683	29,634	27,828	13,918	32,265	19,053	11,898
9	116,310	19,438	18,550	14,113	4,139	8,656	9,501
10	167,233	25,277	21,054	15,111	11,415	6,728	15,697
11	147,697	22,024	18,285	23,928	8,669	10,609	21,373
12	55,419	9,056	9,505	6,165	2,344	4,886	41,018
合計	1,375,033	221,710	208,805	181,258	124,531	103,387	251,418

月	植物公園	安佐動物公園	こども文化科学館	郷土資料館	ガラスの里	森林公園	江波山気象館
1	3,966	19,199	25,623	1,024	2,651	5,270	4,885
2	22,779	19,681	22,789	1,036	2,944	7,915	8,217
3	9,743	42,221	29,879	844	3,945	11,598	3,943
4	27,906	66,851	30,752	1,032	2,994	21,224	3,847
5	30,258	93,604	37,817	1,584	7,569	28,613	5,356
6	7,468	20,132	41,463	1,164	3,876	8,536	2,544
7	11,255	17,465	59,305	1,121	3,861	12,868	3,295
8	21,133	59,053	80,698	6,008	6,363	20,397	6,596
9	14,415	48,951	30,426	2,111	3,974	14,883	7,345
10	27,160	66,716	57,851	3,511	4,202	21,960	7,118
11	13,981	47,765	30,452	7,635	3,698	17,206	3,235
12	21,525	15,646	21,879	1,072	1,432	5,249	1,716
合計	211,589	517,284	468,934	28,142	47,509	175,719	58,097

月	花みどり公園	マツダ・ミュージアム	交通科学館	頼山陽史跡資料館	マリーナホップ	湯来ロッジ	クアハウス湯の山
1	4,050	2,489	14,898	588	168,000	16,286	4,107
2	5,770	2,169	20,253	1,278	115,000	12,631	3,752
3	5,770	2,699	17,864	1,227	143,000	12,551	4,035
4	13,950	3,560	12,516	575	125,250	12,294	3,765
5	19,120	6,441	18,571	847	186,460	14,059	5,373
6	4,670	3,322	9,634	767	118,800	9,575	4,968
7	4,960	2,283	19,826	656	156,450	10,109	6,902
8	3,500	2,229	35,383	400	133,890	14,607	10,582
9	5,190	14,292	15,303	1,037	146,050	11,531	4,833
10	6,810	14,816	15,928	1,035	162,080	11,540	5,119
11	7,470	7,127	16,154	826	150,170	13,902	3,280
12	4,940	2,146	10,368	454	139,580	9,352	3,127
合計	86,200	63,573	206,698	9,690	1,744,730	148,437	59,843

表 I-16 スポーツ観戦入場者数の推移

単位：数、人、位

年	プロ野球公式戦（マツダスタジアム）			Jリーグ公式戦 （広島ビッグアチ・広島スタジアム）		
	試合数	入場者数	公式戦順位	試合数	入場者数	公式戦順位
18	65	908,133	5	20	199,117	10
19	66	1,051,583	5	21	237,892	16
20	66	1,318,454	4	21	227,631	1(J2)
21	67	1,784,127	5	20	293,968	4
22	68	1,550,367	5	22	288,976	7

資料：市民球場管理事務所・サンフレッチェ広島

(2) 広島平和記念資料館の入館者

平成22年（2010年）の広島平和記念資料館の月別入館状況は、平和記念式典のある8月（201,683人）、大型連休のある5月（173,343人）、行楽・修学旅行シーズンの10月（167,233人）、11月（147,697人）が特に多くなっている。

また、大人と小人の入館者数の多い月は、大人では8月、5月、3月の順となっているが、小人では10月、5月、11月の順となっている。（表I-17）

表 I-17 広島平和記念資料館月別入館者数（平成22年）

単位：人

月	大人	小人		合計		(21年) 合計	前年比
		うち修学旅行等団体	うち外国人				
1	41,640	8,209	2,803	49,849	9,471	43,397	115%
2	46,694	7,288	4,202	53,982	8,072	47,800	113%
3	92,948	20,330	8,717	113,278	16,202	99,325	114%
4	83,134	23,613	16,455	106,747	23,996	103,669	103%
5	96,934	76,409	64,631	173,343	17,615	160,420	108%
6	54,493	41,820	38,795	96,313	13,092	98,122	98%
7	72,453	20,726	8,393	93,179	19,624	89,697	104%
8	152,472	49,211	6,170	201,683	21,940	202,161	100%
9	86,975	29,335	23,818	116,310	16,160	144,028	81%
10	87,031	80,202	73,757	167,233	18,582	163,322	102%
11	91,233	56,464	51,605	147,697	13,677	155,685	95%
12	37,120	18,299	14,559	55,419	9,706	66,330	84%
計	943,127	431,906	313,905	1,375,033	188,137	1,373,956	100%

資料：広島平和記念資料館